

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		このこのビレッジ八王子追分（児童発達支援）			公表日	令和8年6月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	基準を満たしており、かつ広く使用できるよう配慮している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	定員と職員の配置は確保できています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	障害特性に応じた介助器具などを整備、またトイレに手すりを設置し対応している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	支援前後で、清掃を行っております。また定期的なハウスクリーニングを実施しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	必要に応じて、パーティション等で区切るように設定しています	児童の用途で個別に使える部屋が少ない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	定期的に職員会議、ケース会議を行い、全職員の共有と業務改善に努めています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	評価表を活用している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	日々のミーティング、および全体ミーティング等で意見交換を行うようにしている	全体ミーティングを週次で行うため、参加できない場合は個別でフォローをしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0	第三者評価を実施している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	強度行動障害研修や関連する社外研修に計画的に参加できるよう調整している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	独自のアセスメント表、ケア表を基に支援計画を策定している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	個別支援計画を職員全員が確認し支援にいかすようにしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	個別支援計画を一元管理しているため、閲覧・確認しやすくしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	連絡用のツール内で利用者個々の情報を管理している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	個々の特性に合わせ、活動プログラムを職員全員で計画、実施している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1		利用頻度が少ない児童にも配慮していくようにします
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	支援開始前のミーティングにて、当日の役割、動きの確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	終了後、もしくは翌日に振り返りを行い共有している。非常勤職員については申し送りでも共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	カンファレンスには、管理者、および担当の看護師など、熟知した職員が参加するようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		相談支援、および各機関との連携を深めるよう、連絡会を開催するように進めて参ります
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	定期的な学校との情報交換、および日々の引き渡し時に連絡事項の情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		就学前の各児童の利用施設との連携を、前もって進めるようにしていきます
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				研修の時間帯が参加に難しい場合があるが、なるべく時間を取るようになっています
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3		児童の特性から、広く交流が難しいが、機会を作っていくようにします
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	引き渡し時、およびF48連絡ツールを用いて状況を伝えるようにしています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	親御様との情報共有の場を不定期ですが持つようにしており、継続していきたい	定期的に実施していくようにします
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	定期的にモニタリングを実施し、支援に反映するようにしています	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	定期的に計画更新を行い、説明のうえ了承を得て進めています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	開催は不定期ですが、可能な範囲で実施しています	定期的に開催するように計画します
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	事業所内に窓口を設け対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	事業所の通信を定期的に保護者へ配信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		町内への連絡等は心がけているが、事業所へ招くことはできていません
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各種マニュアル整備と、定期的な社内研修会を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2	計画書を作成し、定期的に避難訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	連絡ツール等より、保護者様より共有してもらっています	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	医師の指示書、及び保護者様からの依頼書等で共有してもらっています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	室内の安全、送迎時の安全含め、職員間で周知し運営しています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2	事業所内で書類整備し共有しています	社内打ち合わせ等で周知し、漏れが無いようにします
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	研修受講した職員が中心になり、社内研修会をとおして理解を府編めるようにしています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	身体拘束についての要件を勉強会をとおして理解を深めています	